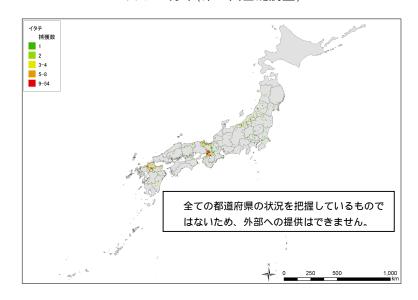
< 6 > イタチ (オス)(Mustela itatsi)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県:群馬県(DD)・埼玉県(RT)・東京都(区部:NT、 北多摩:NT)・神奈川県(準絶滅危惧)・大阪府(情報不足)・鳥取県(NT)・島根県(NT)・ 岡山県(情報不足)・広島県(準絶滅危惧)・山口県(NT)・香川県(NT)・福岡県(準絶 滅危惧)・佐賀県(絶滅危惧 類種)・熊本県(NT)・大分県(NT)・宮崎県(DD)・鹿児島 県(亜種コイタチ:情報不足・亜種ニホンイタチ:分布特性上重要)

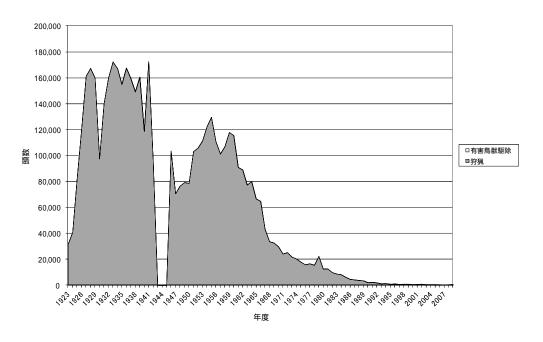
【生息状況等】北海道では疎であるが、本州、四国、九州と周辺の島嶼に分布が見られ、ほぼ全 国的に生息している。



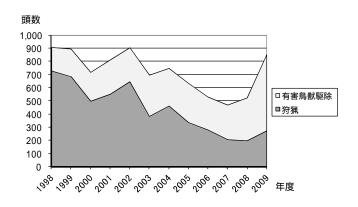
イタチの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるイタチの捕獲状況



イタチの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移

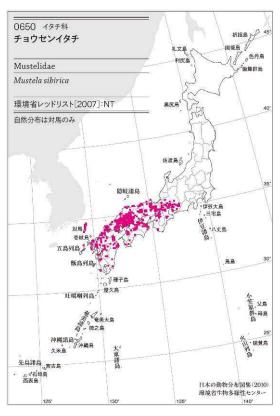


近年の推移

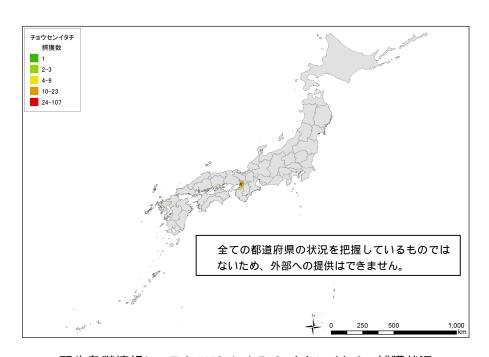
< 7 > チョウセンイタチ (オス) (Mustela sibirica)

【レッドデータブック】環境省:NT 都道府県:京都府(要注目種-外来種)

【生息状況等】日本における自然分布域は対馬のみであり、1949 年頃九州地方に侵入し、現在では、九州、四国、中部地方にまで分布が拡大している。



チョウセンイタチの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるチョウセンイタチの捕獲状況

チョウセンイタチの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数

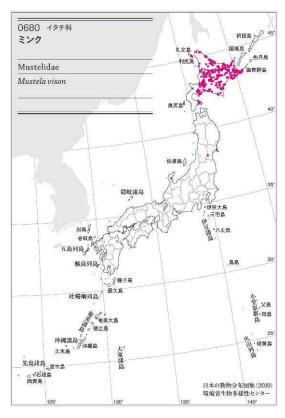
年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
狩猟個体数	-	-	-	2	31	5	3
有害捕獲数	-	-	-	-	-	-	-
計	0	0	0	2	31	5	3

本種は2003年からの狩猟鳥獣

< 8 > ミンク (Mustela vison)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県: -

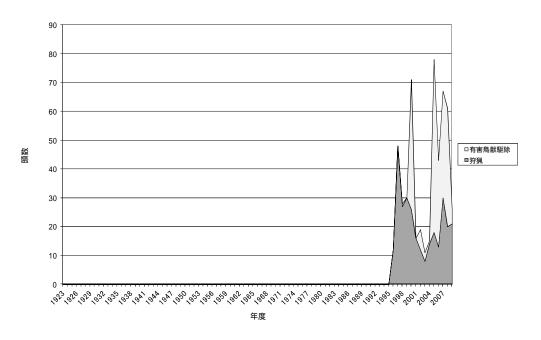
【生息状況等】原産地は北アメリカであるが、毛皮動物として養殖目的で北海道に導入された個体が、脱柵、野生化して全道に分布を広げている。



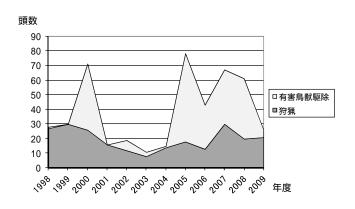
ミンクの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるミンクの捕獲状況



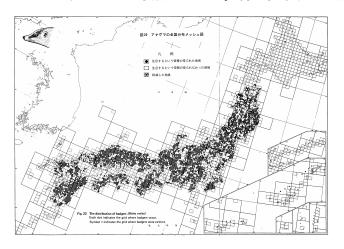
ミンクの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

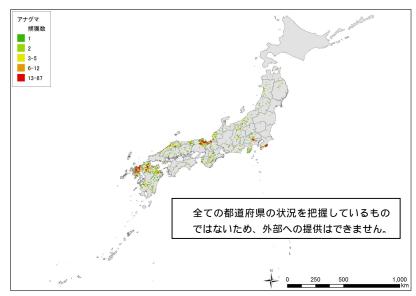
< 9 > アナグマ (Meles meles)

- 【レッドデータブック】環境省: 都道府県:栃木県(要注目)・群馬県(DD)・埼玉県(RT)・ 千葉県(C)・東京都(区部:EX、北多摩:NT)・愛知県(DD)・大阪府(準絶滅危惧)・兵 庫県(C)・山口県(NT)・香川県(NT)・長崎県(NT)・熊本県(CS)・鹿児島県(分布特 性上重要)
- 【生息状況等】第6回自然環境保全基礎調査によれば、本州、四国、九州のほぼ全域に分布し、 北海道の他、佐渡、伊豆諸島、隠岐、瀬戸内諸島の大部分など、島嶼には分布していな い。全国での生息区画数 (5km メッシュ) は5,062 メッシュで、1978 年と比較すると減 少している状況であった。特に、東北や近畿地方では減少が目立った。

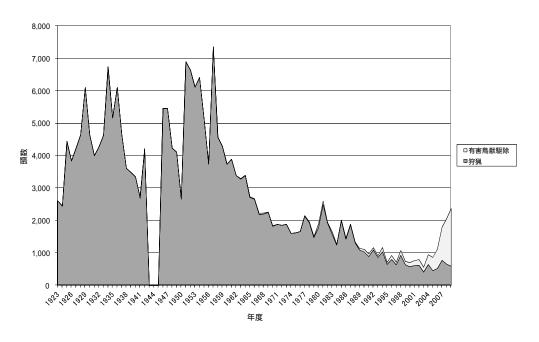


アナグマの分布 (第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右))

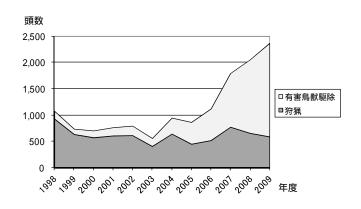




野生鳥獣情報システム(WIS)によるアナグマの捕獲状況



アナグマの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

有害鳥獣捕獲数の多い上位 10 自治体

順位 _	都道府県(頭数)						
	2007年	2008年	2009年				
1	千葉県(274)	京都(275)	京都(342)				
2	京都(115)	千葉(189)	鹿児島(287)				
3	鹿児島(101)	鹿児島(140)	千葉(204)				
4	佐賀(93)	長崎(130)	長崎(158)				
5	長崎(86)	兵庫(124)	佐賀(152)				
6	島根(66)	佐賀(115)	長野(126)				
7	東京(61)	福井(85)	兵庫(108)				
8	兵庫(42)	東京(73)	東京(89)				
9	福井(40)	長野(63)	島根(51)				
10	長野(26)	島根(60)	広島(42)				

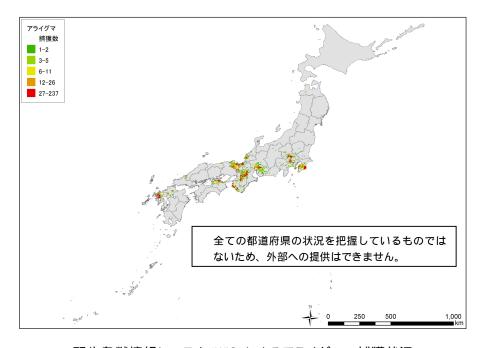
<10>アライグマ(Procyon lotor)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県:京都府(要注目種-外来種)

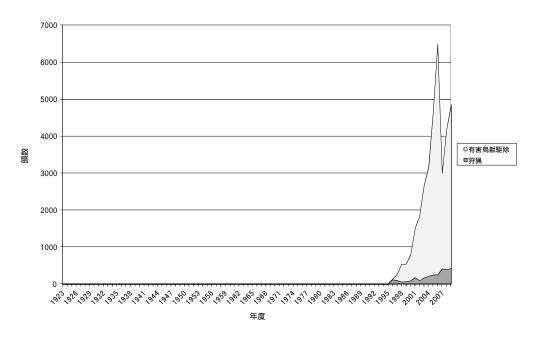
【生息状況等】原産地はカナダ南部からパナマで、日本には輸入されてペットとして飼育されて いたものが逃げ出し、各地で野生化している。近年急速に分布を拡大している。



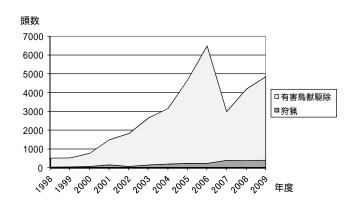
アライグマの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるアライグマの捕獲状況



アライグマの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移

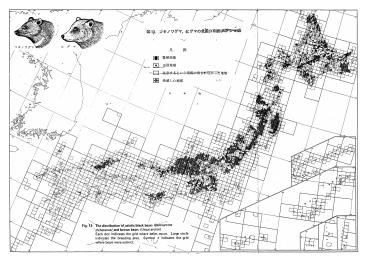


近年の推移

<11>ヒグマ (Ursus arctos)

【レッドデータブック】環境省:LP 都道府県:北海道(LP)

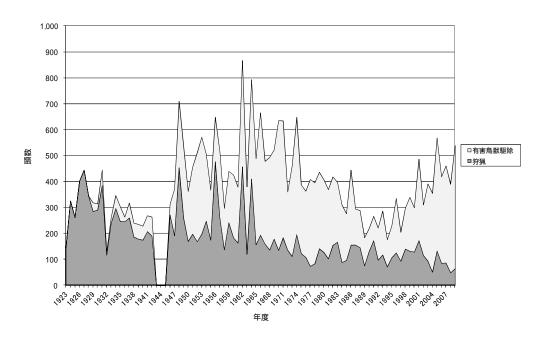
【生息状況等】本州の分布は北海道本島に限られ、周辺の離島には生息していない。1978年の調査では主な生息域が大雪、天塩、日高、渡島などの山岳地帯が中心であったが、第6回自然環境保全基礎調査では、平野部での分布も確認されている。2003年の生息区画数(5kmメッシュ)は2,224メッシュで、1978年と比較すると分布域は1.1倍に微増している。



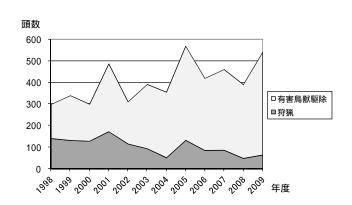


ヒグマの分布 (第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右))

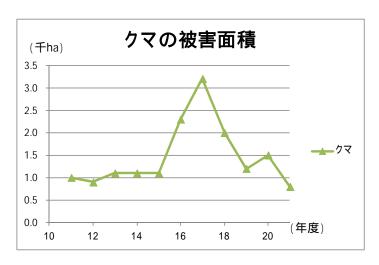
【野生鳥獣情報システム(WIS)による捕獲状況】北海道の情報がない。



ヒグマの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



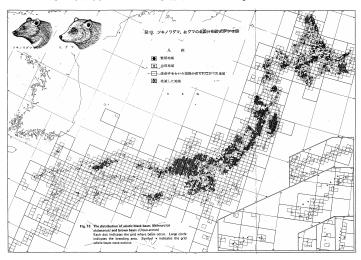
近年の推移



ヒグマとツキノワグマを含む

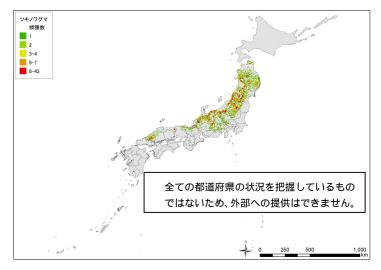
<12>ツキノワグマ(Ursus thibetanus)

- 【レッドデータブック】環境省:LP 都道府県:青森県(LP)・岩手県(D)・秋田県(N)・福島県(N)・群馬県(DD)・埼玉県(VU)・東京都(南多摩:CR、西多摩:EN)・神奈川県(絶滅危惧 類)・山梨県(N)・長野県(LP)・静岡県(LP)・愛知県(CR)・三重県(EN)・滋賀県(希少種)・京都府(絶滅寸前種)・兵庫県(A)・奈良県(絶滅寸前種)・和歌山県(絶滅危惧 I類)・鳥取県(VU)・島根県(CR+EN)・岡山県(絶滅危惧 類)・広島県(絶滅危惧 類)・山口県(CR)・徳島県(絶滅危惧 IA類)・愛媛県(CR+EN)・高知県(CR)・熊本県(EW)・大分県(EW)・宮崎県(EX)・鹿児島県(絶滅)
- 【生息状況等】第6回自然環境保全基礎調査によれば、本州では中部以東の山岳地帯に偏り、中部及び東北に広く分布している。下北、紀伊半島、中国西部は他の地域とは隔離されている。また、九州では生息情報が得られていない。1978年と比較すると、分布域は全国的に微増している状況であった。

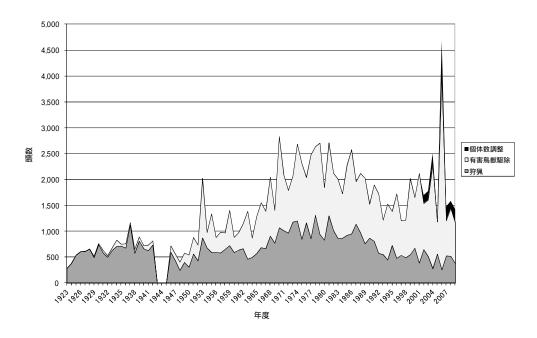


ヒグマの分布 (第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右))

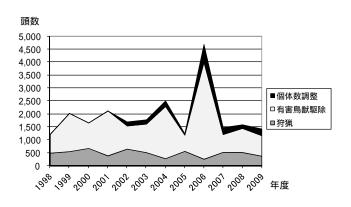




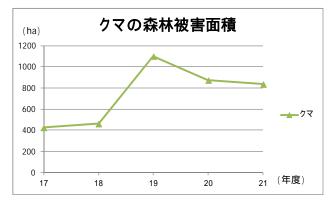
野生鳥獣情報システム(WIS)によるツキノワグマの捕獲状況



ツキノワグマの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移



ツキノワグマのみの

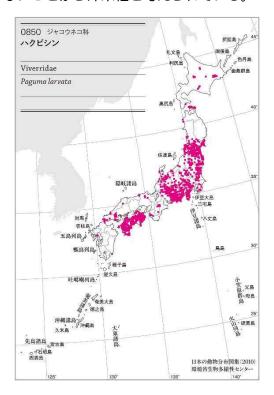


ヒグマとツキノワグマを含む

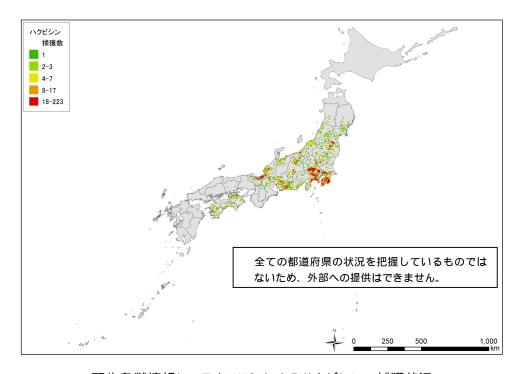
<13>ハクビシン (Paguma larvata)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県:京都府(要注目種-外来種)

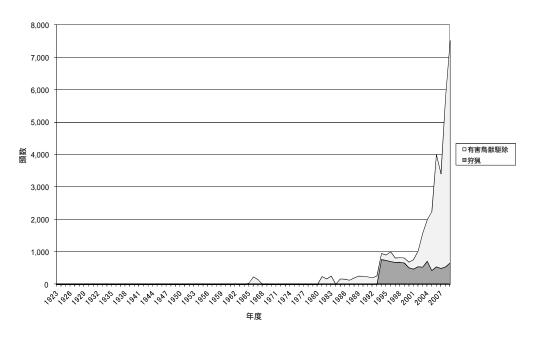
【生息状況等】日本では広く分布しているが、分布域は連続しておらず、江戸、明治期における 確実な生息記録がないことから外来種と考えられている。



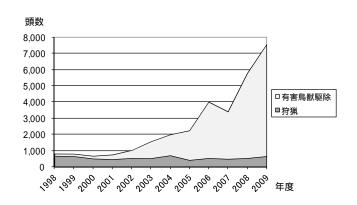
ハクビシンの分布(第6回基礎調査)



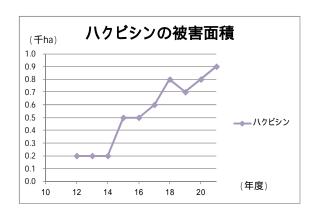
野生鳥獣情報システム(WIS)によるハクビシンの捕獲状況

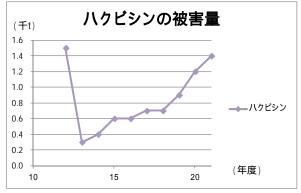


ハクビシンの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



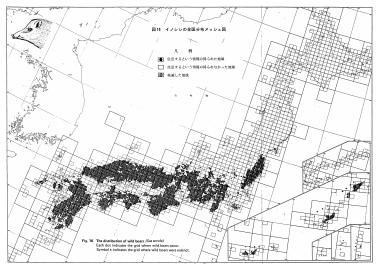
近年の推移





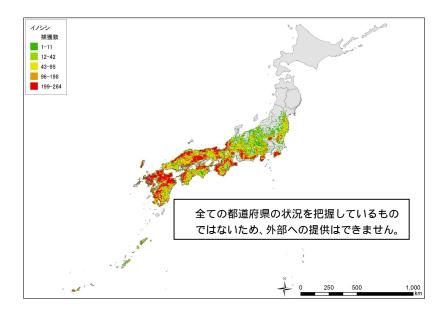
<14>イノシシ (Sus scrofa)

- 【レッドデータブック】環境省:LP(徳之島のリュウキュウイノシシ) 都道府県:青森県(EX)・岩手県(EX)・宮城県(要注目種)・山形県(EX)・東京都(区部:EX)・鹿児島県(亜種リュウキュウイノシシ:絶滅危惧 類(徳之島個体群は消滅危惧 類)・亜種ニホンイノシシ:分布特性上重要)・沖縄県(DD)
- 【生息状況等】第6回自然環境保全基礎調査によれば、本州、四国、九州、沖縄に分布するが、 分布域は大きく西南日本に偏り、北海道、東北の4県(青森県、岩手県、秋田県、山形 県)には分布していない状況である。2003年の全国での生息区画数(5kmメッシュ)は 6,693メッシュで、1978年と比較すると分布域は1.3倍に拡大し、全ての地域で拡大し ている状況であった。

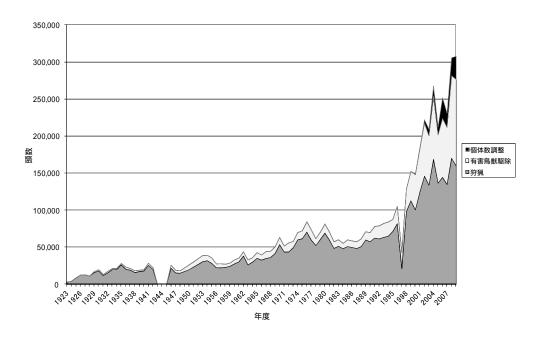


イノシシの分布 (第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右))

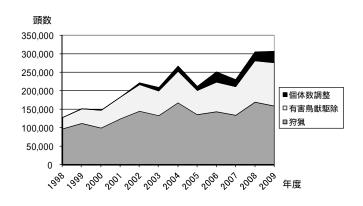




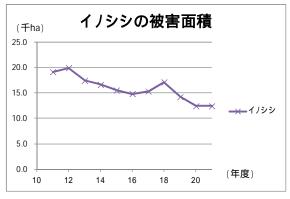
野生鳥獣情報システム(WIS) によるイノシシの捕獲状況

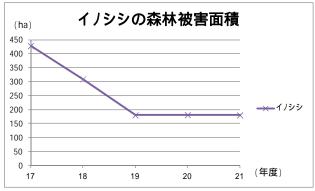


イノシシの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



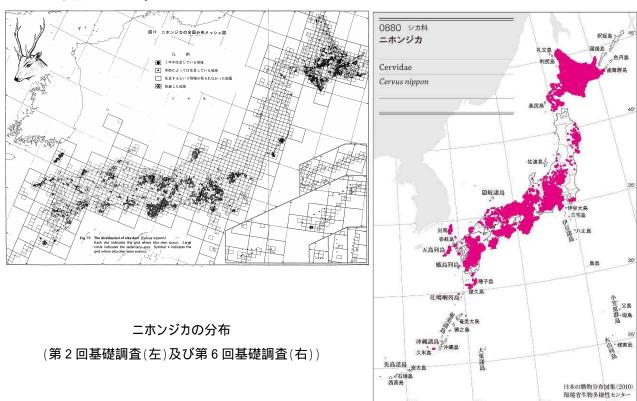
近年の推移

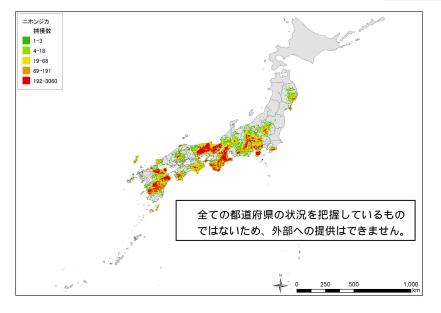




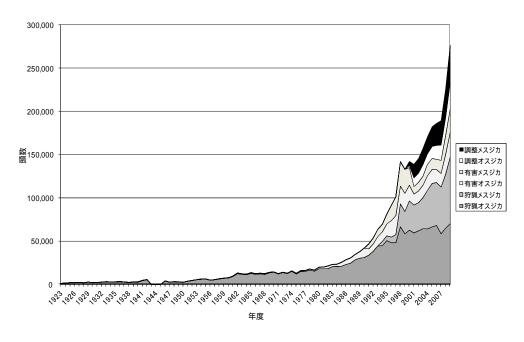
<15>二ホンジカ (Cervus nippon)

- 【レッドデータブック】環境省:LP 都道府県:青森県(EX)・岩手県(D)・秋田県(EX)・山形県(EX)・奈良県(郷土種)・島根県(NT)・山口県(LP)・佐賀県(絶滅種)・鹿児島県(亜種マゲジカ:絶滅危惧 類、亜種ヤクシカ:分布特性上重要、大隅半島のキュウシュウジカ:消滅危惧 類)
- 【生息状況等】第6回自然環境保全基礎調査によれば、関東地方平野部や東北地方の日本海側を除いて、ほぼ全国的に分布している状況である。全国での生息区画数(5km メッシュ)は7,344 メッシュで、1978 年と比較すると 1.7 倍に拡大し、全ての地域で拡大している状況であった。

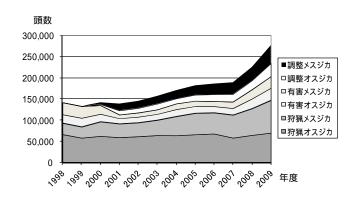




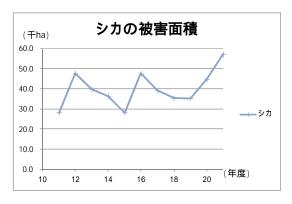
野生生鳥獣情報システム (WIS)によるニホンジカの捕 獲状況

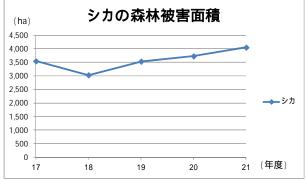


ニホンジカの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移





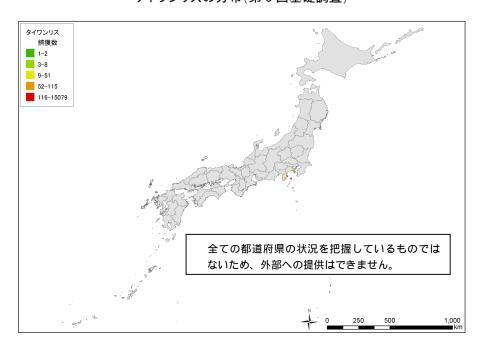
<16>タイワンリス (Callosciurus erythraeus)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県: -

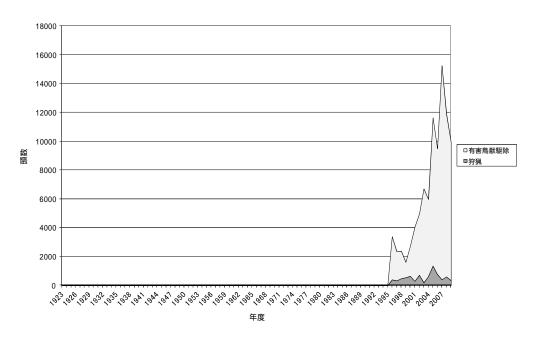
【生息状況等】戦前から動物園などで飼育されていた台湾産のタイワンリスが、1935 年以降逃げ出したり放たれたりして、現在は東京都大島、神奈川県、静岡県、岐阜県、大阪府、和歌山県、長崎県、大分県などに定着している。



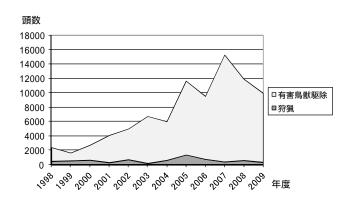
タイワンリスの分布(第6回基礎調査)



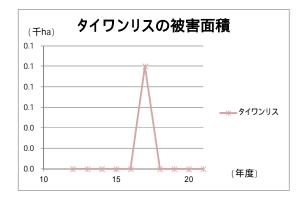
野生鳥獣情報システム(WIS)によるタイワンリスの捕獲状況

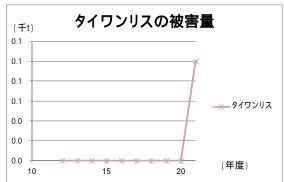


タイワンリスの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

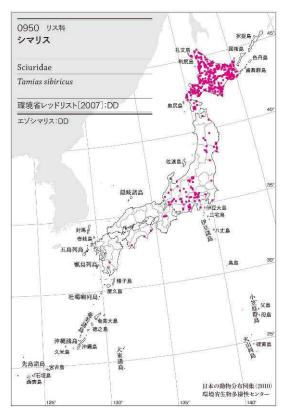




<17>シマリス (Tamias sibiricus)

【レッドデータブック】環境省:DD(亜種エゾシマリス) 都道府県:-

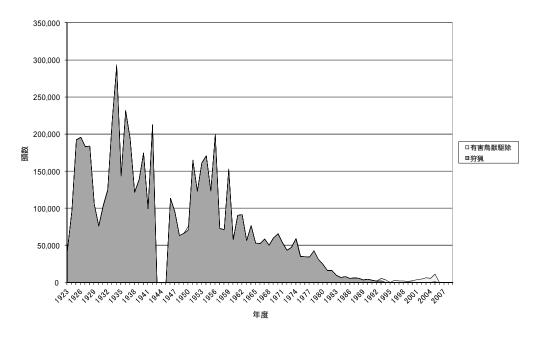
【生息状況等】北海道に生息するのは亜種エゾシマリスであるが、本州などに見られるのは、ペットとして飼育されていた大陸産のシマリスが野生化したものと考えられている。



シマリスの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるシマリスの捕獲状況



リス類の狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移

リス類について

- ・1993 年度まではニホンリスとシマリスが含まれる
- ・1996 年度以降はタイワンリスとシマリスが含まれる

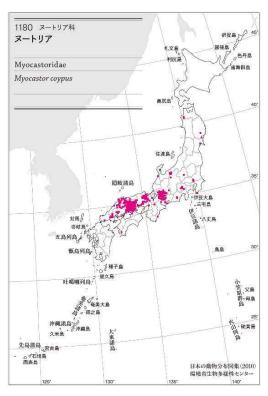
近年の狩猟によるシマリスの捕獲状況

	/ -	4000	0000	0004	0000	0000	0004	0005	0000	0007	0000	0000
± 1/1.44	年度	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
自治体	\ <u>\</u>											
	海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02 青		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03 岩		3	-	1	2	1	-	-	1	-	1	-
05 秋		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06 山		1	-	1	11	-	1		-	-		
07 福		1	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-
08 茨		1	-	-	-	-	-		-	-	-	-
10 群		-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-
11 埼	王	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
13 東	京	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
14 神	奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
15 新	「 潟	-	1	-	2	1	1	-	-	1	-	2
18 福	計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
19 山		2	2	3	-	-	-	-	-	4	-	-
20 長	野	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
21 岐	阜	4	-	1	1	-	1	-	-	-	-	1
22 静	田田	23	183	-	12	1-	2	-	-	1	-	-
23 愛	を知	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 <u>=</u>		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 滋	红賀	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
28 兵		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
29 奈		-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 鳥		-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 愛		2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
39 高		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44 大		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
計		45	201	11	24	13	9	0	2	7	5	3

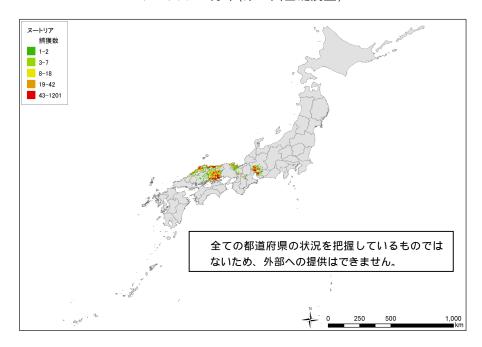
<18>ヌートリア (Myocastor coypus)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県:京都府(要注目種-外来種)

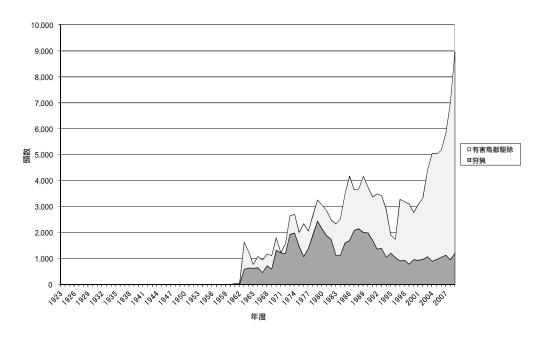
【生息状況等】原産地は南米であるが、世界各地に移入されている。日本でも最近西日本を中心 に捕獲や目撃記録が増加している。



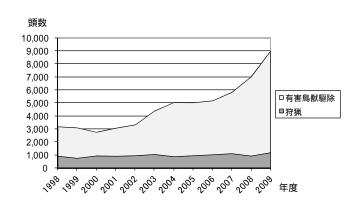
ヌートリアの分布(第6回基礎調査)



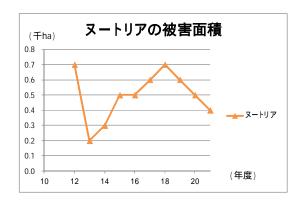
野生鳥獣情報システム(WIS)によるヌートリアの捕獲状況

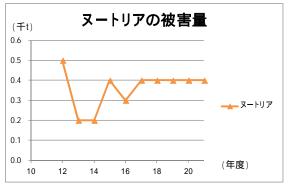


ヌートリアの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

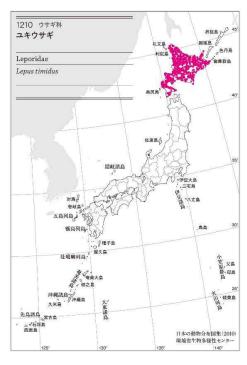




<19>ユキウサギ (Lepus timidus)

【レッドデータブック】環境省: - 都道府県: -

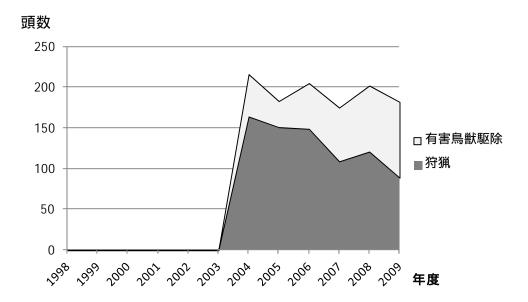
【生息状況等】北海道に分布し、ほぼ全域から生息情報が得られている。



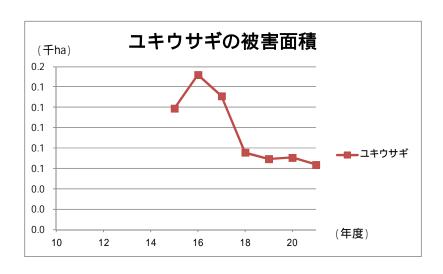
ユキウサギの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるユキウサギの捕獲状況



ユキウサギの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数 近年の推移



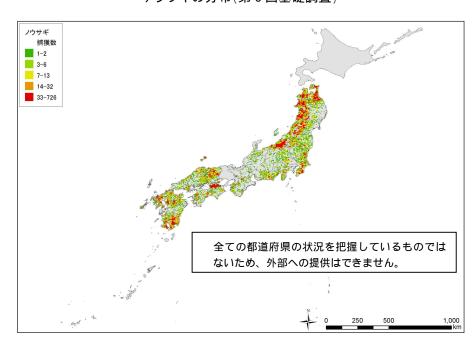
<20 > ノウサギ (Lepus brachyurus)

【レッドデータブック】環境省:NT(亜種サドノウサギ) 都道府県:埼玉県(RT)・東京都(区部:DD、北多摩:VU)・新潟県(NT)・山口県(亜種キュウシュウノウサギ:NT、亜種トウホクノウサギ:DD)・鹿児島県(分布特性上重要)

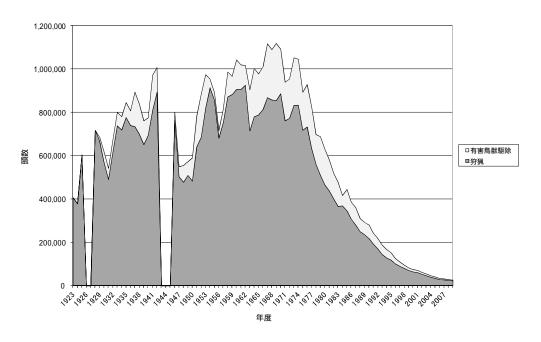
【生息状況等】本州、四国、九州の他、いくつかの島嶼部で広く分布が確認されている。



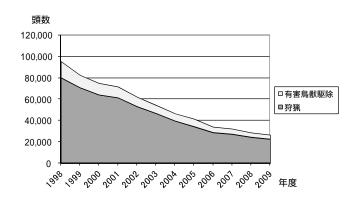
ノウサギの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるノウサギの捕獲状況



ノウサギの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

